
じゃんけんぽん

もも

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

じゃんけんぽん

【Zコード】

Z8496Z

【作者名】

もも

【あらすじ】

短編、恋愛、男視点、甘

最近寒い日が続きますね。そんな短編です。

駅を出ると胸がつまるような外氣にむせ、白く鼻先がシンと痛くなつた。

夜空は黒、といつより深い蒼色。

散りばめたような星は増して寒さを感じさせる。

仕事帰りには見に染みる寒さで、ポッケに突っ込んだ手の先が悴んでいる。

決して冬は嫌いではない。

むしろ夏は暑く、汗かきの俺には疎ましくさえ感じる。だがそれにも限度があつて、寒すぎるのもよくない。

寒さは動きを鈍らせ、やる気を喪失させる。付け加えて重ね着が嫌いな俺にとって、やはり良い季節とは言えないのかもしれない。

…そんなことをいつとアッシュに天の邪鬼とか我慢しなさいとか口頬く言われるんだろう。

ブーブーブー。

指先に携帯のメールを知らせるバイブが響く。

間をおいてからそれを出すと、一気に手の温度が下がり出す。

『おつかれさまです。寒いね』

噂をすれば彼女。

何処かで見ているのか、はたまた予知能力があるのか。

『寒さ通り越してるよ。なにしてる?』

俺の帰宅時間の大体把握していると想定しよ。にしてもタイミングが良い。

ブーブーブー。

『なににこうよりベランダにいる(笑)』

.....。

『いくつだよ。黄笛でないで中入れ』

どうせ星が綺麗だのなんだのと歯をガチガチ言わせながら夜空見上げてるのだろう。

そういう所は共感できない、といつか阿呆ぽい、といつか…。

ブーブーブー。

『どうせ馬鹿とか思つてんでしょう。いいよ、わかってますからね…』

『惜しいな、俺が思つてたのは阿呆だ』

ブーブーブー。

『むつかつく（笑）しかも残念でした。今日は星見るためではありますません』

『なんのために？』

そう返信してから何となく、彼女のペースに乗せられている気がして笑了。

珍しく返信が早いのは、何か意味しているのだろうか。

ブーブーブー。

『星もそうだけど空が綺麗でしょ。蒼っぽくて、冬って感じ。もう

帰宅した？』

…近くここると感性まで移るのか？

『まだ、もうちょい』

前文には触れないでおく。お前のせいだぞ、付け上がるんじゃない。そういうことにしてもくべ。

ブーブーブー。

『少しだけ会いたい、ちょっとだけ』

つい足を止めやうになる。

これも珍しい…と、うつ調子外れに近い。文面から彼女の弱々しい肉声が漏れるような気さえした。

時間もなかなかに遅い。明日の仕事もあれば今日のついでになしたいこともある。

『寒いけど、それでいいな』

断らうと思えばいくつも理由を上げられる。…ただ、もつ俺もアイツも外にいるせいでこれ以上は冷えないだろ？。

何があったのかはさっぱりだが、たまの我儘に付き合つては勤めかもしねり。

ブーブーブー。

『え？…ありがと！（笑）』

『どういふ意味？』

ブーブーブー。

『「めんなさい、意外すぎて（笑）』

『「ひるねー。で、俺が行こうか？』

と打ち込みながら自宅のすぐそばまで来た。もはや体を撫でる北風の寒さも軽減され始めている。足を止め、返信を待つていると、

ブーブーブー。

『えつと、えりこみわい。』

あ、じゃあジャンケンで勝つた方が会いに行くことにこもれいっ(^ ^)

はい、ジャンケン、

チヨキ『

「…………はあ…………？」

マスクの内側で漏れた笑みに、やはり水蒸気が溜まる。

前々から思つていたけど……わからないやつだよ、お前は。

返信を作るべきか、むしろ電話かと悩みながら顔をあげる。

漆黒、なんて表現では勿体無いほどの深い蒼が静まり返った町を包み込む。

満点とまでは言えないが、小さな点が燦然と瞬いていた。

『お前さあ…………』

(後書き)

久しぶりの短編です。恋愛モノは肩身が狭い（笑）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8496z/>

じゃんけんぽん

2011年12月26日21時51分発行